

第2期川崎区区民会議 報告書

手をつなごう、地域のつながり



地球環境とエコ



平成22年3月
川崎区区民会議

はじめに

平成20年7月にスタートした第2期川崎区民会議もまもなく活動を終え、4月1日から新たに第3期が始まります。〇〇〇〇〇〇

第2期川崎区区民会議委員長
魚津 利興

目 次

I 地域課題の解決に向けた取り組み	0
1 地域課題の検討	0
(1) 地域課題の把握	0
(2) 把握した課題の整理	0
2 審議テーマの決定	0
3 審議の経過	0
(1) 審議の流れ	0
(2) 各会議の概要	0
4 各部会の課題解決に向けた取り組み	0
(1) 地域力・つながり部会の取り組み	0
(2) 区民が取り組む環境エコ部会の取り組み	0
5 取り組みの振り返り	0
(1) 地域力・つながり部会の振り返り	0
(2) 区民が取り組む環境エコ部会の振り返り	0
II 川崎区区民会議の実効性を高める取り組み	0
1 実効性を高める方策を検討	0
2 第3期川崎区区民会議に向けての提案	0
III 課題解決を推進する取り組み	0
1 有識者による協働をテーマにした講演の実施	0
2 区民会議集会の開催	0
資料編	0
1 第2期川崎区区民会議委員一覧	0
2 川崎区区民会議参与一覧	0
3 「手をつなごう、地域のつながり」実行計画	0
4 「地球環境とエコ」実行計画	0

I 地域課題の解決に向けた取り組み

1

地域課題の検討

＜「手をつなごう、地域のつながり」と「地球環境とエコ」をテーマに審議＞

第2期川崎区区民会議では、「手をつなごう、地域のつながり」と「地球環境とエコ」の2つテーマを設定し、それぞれ部会を設置して、約2年に渡り審議を行いました。

(1)

地域課題の把握

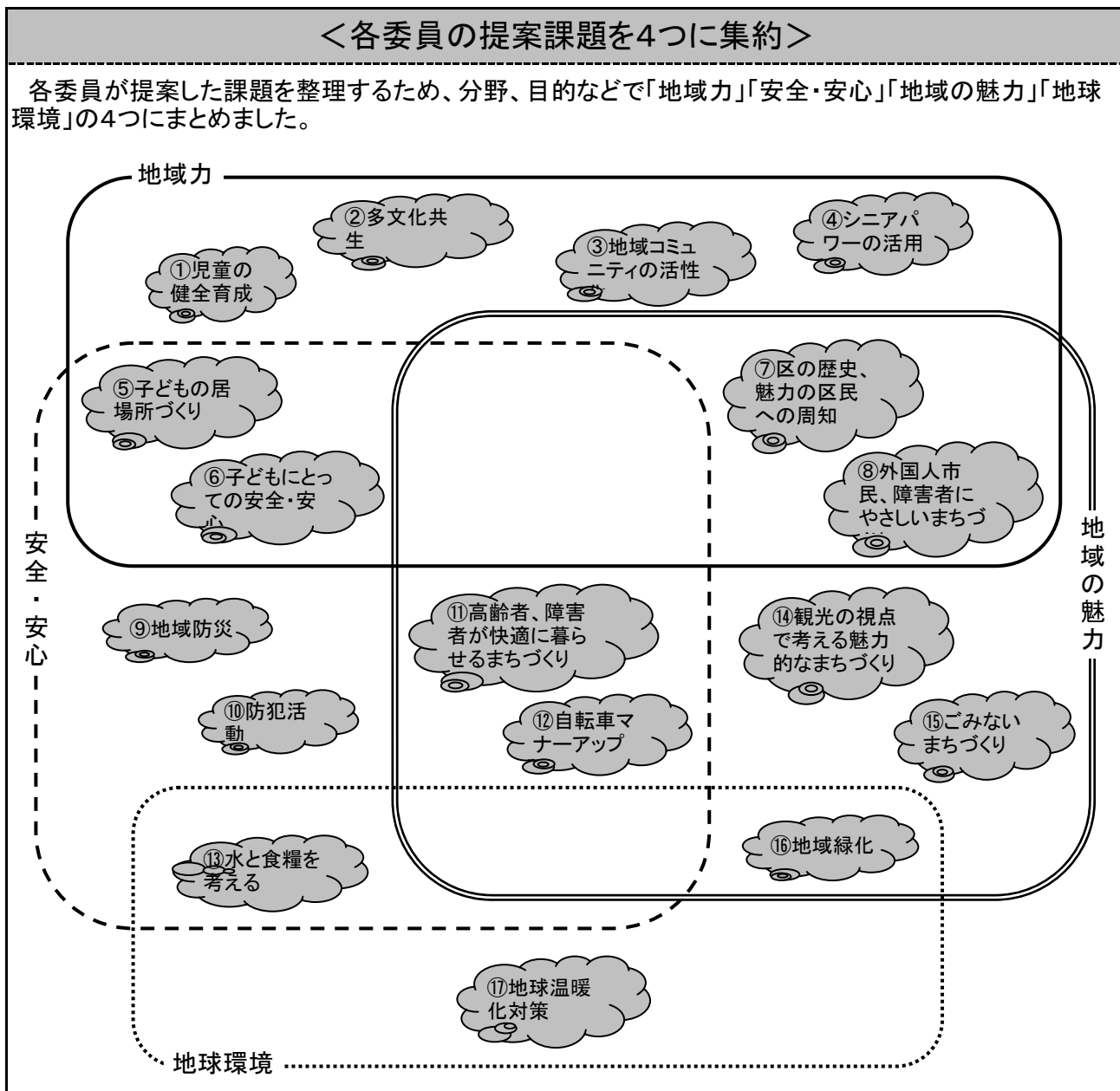
＜各委員から17項目の地域課題を提案＞

第1回全体会議に先立って各委員に審議課題アンケートを実施しました。各委員が日ごろの活動の中で把握した課題を提案しました。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ①児童の健全育成 | ⑩防犯活動 |
| ②多文化共生 | ⑪高齢者、障害者が快適に暮らせるまちづく |
| ③地域コミュニティの活性化 | ⑫自転車マナーアップ |
| ④シニアパワーの活用 | ⑬水と食糧を考える |
| ⑤子どもにとっての安全・安心 | ⑭観光の視点で考える魅力的なまちづくり |
| ⑥子どもの居場所づくり | ⑮ごみのないまちづくり |
| ⑦区の歴史、魅力の区民への周知 | ⑯地域緑化 |
| ⑧外国人市民、障害者にやさしいまちづくり | ⑰地球温暖化対策 |
| ⑨地域防災 | |



(2) 把握した課題の整理



<「地域力」と「地球環境」を審議>

全ての課題に取り組むことは難しいので、分野、目的などで4つにまとめたうち、緊急性、重要性、実現性などを考慮して「地域力」と「地球環境」を優先して審議することが決まり、それぞれの部会を設置しました。

2

審議テーマの決定

＜考え方、目的・目標、方向性などを検討し、審議テーマを決定＞

設置した2つの部会それぞれで、課題に対する考え方、審議の目的や目標、方向性などの意見を交換し、審議テーマと部会名を決定しました。

	「地域力」	「地球環境」
部会名	地域力・つながり部会	区民が取り組む環境エコ部会
審議テーマ	手をつなごう、地域のつながり	地球環境とエコ
部会名、審議テーマ決定の経緯	地域に住んでいるさまざまな人のつながりを強めよう。つながりは結束力であり、ひいては地域の総合力、いわば「地域力」になる。	「地球環境」というとどこか遠い世界のことで考えてしまうが、川崎区も決して無関係ではなく、他人任せにしてはならない。
目的、目標など	最近新しく区民になった人も以前から住んでいる人も、子どもの高齢者も、外国人市民も、障害者もみんなで手をつないで一つにまとまること。	地球環境を区民みんなの力で守る。 地域や家庭でできる身近な取り組みを実行し継続していく。
審議を進める上での方向性など	・今まで見ず知らずだった人たちが、知り合いになるような状況をつくる ・次の世代に地域のいろいろなものを残す ・地域への愛着心を醸成する	・子どもと一緒に取り組む ・区民に関心を持ってもらうため、多摩川、海、産業都市といった区の特長を活かす

3

審議の経過

(1)

審議の流れ

平成20年度

第1回全体会議

審議結果	[委員長、副委員長を選出] 委員長：魚津利興委員（川崎商工会議所） 副委員長：弾塚誠委員（区安全・安心まちづくり推進協議会）、荒井敬八委員（区文化協会） [専門部会の設置を決定] 「地域力」と「地球環境」をキーワードに専門部会を設置
------	--

第1回専門部会（地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会）

審議結果	[部会長を選出] 地域力：星川孝宜委員（公募） 地球環境：原田歩委員（海風の森をMAZUつくる会） [審議テーマを決定] 地域力：「手をつなごう、地域のつながり」 地球環境：「地球環境とエコ」 [部会名を決定] 地域力：「地域力・つながり部会」 地球環境：「区民が取り組む環境エコ部会」
------	--

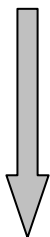
第2回専門部会（地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会）

審議結果	[審議課題を決定] 地域力・つながり部会：「情報発信、情報共有化」「人づくり、世代のつながり」「防災訓練」「外国人市民」「自慢づくり」 区民が取り組む環境エコ部会：「地域緑化」「地域や家庭での環境意識向上のための啓発・教育」「区内の川や池などの環境保全」
------	--

第3回専門部会（地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会）

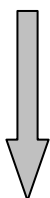
審議結果	[実行計画(案)を策定] それぞれの部会で実行計画(案)を策定
------	---

第2回全体会議	
審議結果	[実行計画(案)を検討] それぞれの部会で策定した実行計画(案)を、さらに全体で検討



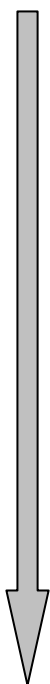
第4回専門部会(地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会)	
審議結果	[実行計画(案)をさらに検討] ・全体会議に審議を受けて、それぞれの部会で実行計画(案)をさらに検討

第3回全体会議	
審議結果	[実行計画を確定] それぞれの実行計画を確定



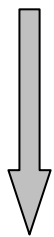
平成21年度

第1回全体会議	
審議結果	[平成21年度の運営方法を決定] 平成21年度は新たな審議テーマを設けず、引き続き「手をつなごう、地域のつながり」と「地球環境とエコ」をテーマに審議することを決定 川崎区区民会議の実効性を高めるため、部会の設置を決定



第1～3回専門部会(地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会)	
審議結果	[課題解決の取り組みの具体的実施方法を検討] 実行計画に記載された課題解決に向けた取り組みの具体的実施方法を検討 [その他の取り組みを検討] その他の課題解決に向けた取り組みを検討

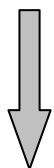
第4回専門部会(地域力・つながり部会、区民が取り組む環境エコ部会)	
審議結果	[取り組みの振り返り] 部会の取り組みの振り返り、今後の方向性などの意見を交換 ※審議に引き続き、有識者による「協働の取り組みの推進に関する講演」を実施



第1～4回実効性を高める部会（実行推進プロジェクト）	
審議結果	[実効性を高める方策の検討] 川崎区区民会議の実効性を高める方策を検討



第2回全体会議	
審議結果	[実効性を高める方策を提案] 実効性を高める部会の審議を受け、川崎区区民会議の実効性を高める方策を提案 [区民会議集会の内容を決定] 区民会議集会の内容の決定 ※審議に引き続き、有識者による「協働の取り組みの推進に関する講演」を実施



区民会議集会	
審議結果	・川崎区区民会議の概要の説明 ・「地域力・つながり部会」と「区民が取り組む環境エコ部会」の取り組みの報告 ・地域課題、課題解決に向けた取り組み、川崎区区民会議の運営方法などの意見交換

第3回全体会議	
内 容	

(2)

各会議の概要

全体会議	
平成20年度第1回 日時:平成20年7月30日(水) 18:30～20:20 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員20人、参与8人、傍聴1人 議題 (1)委員長、副委員長の選出 (2)川崎区区民会議運営要領の確認 (3)審議課題の選定	平成20年度第2回 日時:平成20年12月10日(水) 18:30～20:20 場所:田島支所3階会議室 出席:委員20人、参与2人、傍聴4人 議題 (1)「手をつなごう、地域のつながり」実行計画(案)について (2)「地球環境とエコ」実行計画(案)について
平成20年度第3回 日時:平成21年2月17日(火) 18:30～20:20 場所:大師支所2階会議室 出席:委員19人、参与10人、傍聴3人 議題 (1)「手をつなごう、地域のつながり」実行計画(案)について (2)「地球環境とエコ」実行計画(案)について (3)第2期川崎区区民会議中間報告書について	
平成21年度第1回 日時:平成21年6月2日(火) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員16人、参与4人、傍聴3人 議題 (1)平成21年度の川崎区区民会議の進め方について (2)今後の会議開催日程について	平成21年度第2回 日時:平成21年12月10日(木) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員17人、参与8人、傍聴1人 議題 (1)各部会からの報告について (2)実効性を高める方策について (3)区民会議集会について
平成21年度第3回 日時:平成22年3月23日(火) 18:30～00:00 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員00人、参与00人、傍聴00人 議題 (1)第2期川崎区区民会議報告書(案)について	

地域力・つながり部会	
平成20年度第1回 日時:平成20年9月11日(木) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人、傍聴1人 議題 (1)部会長の選出 (2)審議テーマについて (3)部会名の決定 (4)審議課題について	平成20年度第2回 日時:平成20年10月20日(月) 18:30～20:45 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員6人 議題 (1)課題について (2)解決策の検討について

平成20年度第3回 日時:平成20年11月18日(火) 18:30～20:35 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人 議題 (1)実行計画について	平成20年度第4回 日時:平成21年1月19日(月) 18:30～20:00 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員6人 議題 (1)実行計画について
平成21年度第1回 日時:平成21年7月14日(火) 18:30～20:45 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員6人、傍聴1人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について	平成21年度第2回 日時:平成21年9月25日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員6人、傍聴1人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について
平成21年度第3回 日時:平成21年11月11日(水) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員6人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について	平成21年度第4回 日時:平成21年11月30日(月) 18:30～20:45 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人、関係者1人 議題 (1)これまでの取り組みの振り返りについて

区民が取り組む環境エコ部会	
平成20年度第1回 日時:平成20年9月30日(火) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員10人、傍聴1人 議題 (1)部会長の選出 (2)審議テーマについて (3)部会名の決定 (4)審議課題について	平成20年度第2回 日時:平成20年10月22日(水) 18:30～20:00 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員10人、傍聴1人 議題 (1)課題について (2)解決策の検討について
平成20年度第3回 日時:平成20年11月21日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員8人 議題 (1)実行計画について	平成20年度第4回 日時:平成21年1月27日(火) 18:30～20:00 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人 議題 (1)実行計画について
平成21年度第1回 日時:平成21年7月9日(木) 18:30～20:20 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員8人、傍聴1人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について	平成21年度第2回 日時:平成21年9月18日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人、傍聴1人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について

平成21年度第3回 日時:平成21年10月14日(水) 18:30～20:05 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員9人 議題 (1)課題解決に向けた取り組みの具体化について	平成21年度第4回 日時:平成21年11月27日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員9人、関係者1人 議題 (1)これまでの取り組みの振り返りについて
--	--

実効性を高める部会(実行推進プロジェクト)	
第1回 日時:平成21年8月20日(木) 18:30～20:30 場所:川崎区役所3階会議室 出席:委員7人 議題 (1)部会長の選出 (2)部会名の決定 (3)実効性を高める方策について	第2回 日時:平成21年9月11日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所7階会議室 出席:委員7人 議題 (1)実効性を高める方策について
第3回 日時:平成21年10月16日(金) 18:30～20:30 場所:川崎区役所3階会議室 出席:委員7人 議題 (1)実効性を高める方策について	第4回 日時:平成21年11月19日(木) 18:30～20:30 場所:川崎区役所3階会議室 出席:委員7人 議題 (1)実効性を高める方策について

区民会議集会
日時:平成22年2月27日(土) 14:00～16:20 場所:川崎区役所7階会議室 出席:参加者(地域の人)21人、委員17人、参与7人 内容 (1)区民会議に取り組み報告 (2)区民会議委員と参加者の意見交換

4

各部会の課題解決に向けた取り組み

(1)

地域力・つながり部会の取り組み

<地域のつながりのための解決策を提案>

地域力・つながり部会では、「手をつなごう、地域のつながり」をテーマに審議しました。テーマに沿って検討した結果、3つの課題を設定して7つの解決策を提案するとともに、具体的な取り組みを実施しました。

「手をつなごう、地域のつながり」実行計画

課題	解決策	取組内容	誰が	何を
人づくり、世代のつながり	・スポーツを通じた交流の実施	・子ども、高齢者、障害者なども含め、誰でも気軽に参加できるスポーツを通じて、地域の交流を促進する	・町内会 ・体育指導委員 ・川崎区役所	・誰でも気軽に参加できるスポーツである「カローリング」を地域に紹介し、それを通じて地域の交流を図る ・参加者の目標になるようにカローリングの大会を開催する
	・シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催	・シニア世代の地域活動への参加を促進するため、地域活動の紹介や地域の魅力の見学などをするツアーを実施する	・区民団体(かわさき歴史ガイド協会など) ・川崎区役所	・シニア世代を対象に、区民団体の地域活動紹介、地域の魅力の見学などの内容でツアーを開催する
	・「地域の縁側」の支援	・地域の身近な交流の場を充実させるため、新たな「地域の縁側」の設置や、既存の「地域の縁側」の機能の充実を図る	・町内会 ・区民団体 ・川崎区役所	・新たな「地域の縁側」の設置を支援する ・既存の「地域の縁側」の機能の充実を支援する
防災訓練	・防災訓練(防災フェア)への外国人市民や障害者などの参加促進	・地域の防災訓練(防災フェア)に外国人市民や障害者などの参加を促し、実際に災害が発生したときの状況を地域の人と一緒に体験する	・町内会 ・PTA ・学校 ・川崎区役所	・地域の防災訓練(防災フェア)に外国人市民や障害者などの参加を促す ・実際に災害が発生したときの状況を、外国人市民、障害者などと地域の人が一緒に体験する
	・東扇島東公園防災施設の視察	・基幹的広域災害拠点である東扇島東公園の防災施設の視察や防災講演会を実施する	・自主防災組織 ・川崎区役所	・東扇島東公園の防災施設の視察や防災講演会を実施する
外国人市民	・外国人市民向けメルマガの配信	・外国人市民向けに行政情報、地域情報などをまとめたメルマガを外国語ややさしい日本語で配信する	・かわさきコミュニケーションボランティア ・川崎区役所	・現在、区民団体のかわさきコミュニケーションボランティアが取り組んでいる外国人市民向けメルマガの配信を拡充する
	・外国人市民向け広報の充実、強化	・外国人市民向けの広報を充実、強化する	・川崎区役所	・区ホームページの外国人市民向け情報を充実させる ・「外国人市民のための相談窓口」をPRする

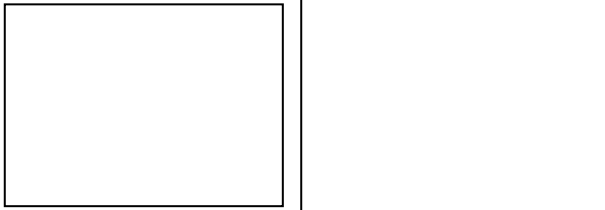
第1期からの継続	いつ(までに)						その他 (どこで、どのようになど)
	21年1月	4月	7月	10月	22年1月	4月以降	
	→ ・用具をそろえたり、町内会などに「カローリング」を紹介する(順次実施) ・町内会などのイベントで「カローリング」を行う(順次実施)						・スポーツを通じて地域の交流を図るために実施する ・用具は購入したり、他都市から借りたりして川崎区役所がそろえる ・体育指導委員が競技の指導や審判を務める ・地区ごとに、区民にカローリングを知ってもらい楽しむことから始める
	→ ・体育指導委員が主催してカローリングの大会を開催する(10～2月の間に実施)						・町内会など30チーム程度の規模を想定して実施する ・参加者の目標になるように、年に1回カローリングの大会(区長杯など)を開催する
○	→ ・シニア世代の地域活動参加促進ツアーを開催する(6～11月の間に実施)						・ウォーキングによる地域の魅力(旧東海道など)見学ツアーを実施する ・区民団体が参加者に団体の地域活動を紹介する ・地域の魅力は区民団体が説明する
○	→ ・川崎区役所が「地域の縁側」の支援をする(順次実施)						・既存の「地域の縁側」の機能(たまり場、相談、ふれあい、情報の受発信など)の充実を支援する
	→ ・町内会、区民団体などが防災訓練(防災フェア)を実施し、それに外国人市民や障害者などの参加を促す(9～11月の間に実施)						・地域で実施している既存の防災訓練(防災フェア)に外国人市民、障害者などの参加を促す ・実際に災害が発生したときの状況を外国人市民、障害者などと地域の人と一緒に体験し、注意点(炊き出しの食材、避難支援など)を認識する
	→ ・防災施設の視察や防災講演会を開催する(7～10月の間に実施)						・対象は自主防災組織など地域の防災組織とする
	→ ・情報収集、配信体制などを検討し、外国人市民向けメルマガの配信を拡充する(順次実施)						・メルマガはケータイ向けに配信する ・英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語の4カ国語とやさしい日本語で配信する ・行政情報などの一部の情報の提供や広報は川崎区役所が行う
	→ ・区ホームページの外国人市民向けの情報を充実させる(順次実施)						・区ホームページの外国人市民のためのページに、区役所、支所の周辺図やフロア図などを新たに作成し、掲載する
	→ ・「外国人市民のための相談窓口」をPRする(順次実施)						・PRチラシを外国人登録窓口などで配布する

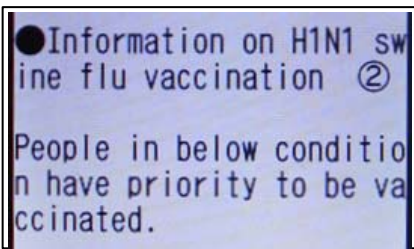
取り組み	地域へのカローリングの普及
・カローリング用具を3セット購入し、区民団体を対象に貸し出しをしています ・川崎市体育館で体験会や教室を実施しています 教室：毎月第3水曜日（参加者各回15人） 体験会：10月12日実施（参加者：66人）	 カローリングとは…「氷上で行うカーリングを床の上でもできるように」と考えられたスポーツです。   子どもから高齢者まで、誰でも気軽に参加

取り組み	かわさき再発見！旧東海道ウォーキングツアーの開催
・シニア世代が地域活動に参加するきっかけづくりをする「かわさき再発見！旧東海道ウォーキングツアー」を開催しました 日時：平成21年11月20日 参加者：シニア世代39人 ガイド：14人 主要内容：区民団体による活動紹介 区民会議の活動紹介 旧東海道ウォーキングツアー	 団体が活動を紹介   地域の魅力を再発見 カローリングの体験も

取り組み	「地域の縁側」の支援を実施
・区役所が地域の縁側に対して既存の活動の拡大や新規の立ち上げなどを支援しています ・地域に縁側は、区地域福祉計画のシンボルプロジェクトに位置付けられています ・区内には12カ所の地域の縁側があります（2月現在）	  さまざまな活動が行われています

取り組み	地域の防災訓練への外国人市民などの参加促進
・地域の防災訓練に外国人市民などが参加し、災害時に注意する点の確認やさまざまな訓練の体験をしました 日時：平成21年11月29日 場所：向小学校 主催団体：大島地区連合町内会 全参加者：約550人 外国人市民の参加者：20人（ボランティアを含む） 主な訓練：初期消火訓練 心肺蘇生法訓練 炊き出し訓練	煙体験 けむりだいけん Karerasen pinasukan kusarto Experience smoked room 煙火体験 Experiência com fumaça 烟雾体験 訓練案内も多言語   外国人市民も訓練を体

取り組み	東扇島東公園防災施設の視察
・地域の防災組織を対象に、災害時に基幹的広域災害拠点になる東扇島東公園の視察などを実施しました - 日時：平成22年3月27日 - 参加団体：小田栄二丁目自治会（約80人） - 主な内容：東扇島東公園防災施設の視察、横浜市民防災センターの見学	 〇〇〇〇〇〇〇〇

取り組み	メールマガジン「インターコムかわさきく」を配信
・外国人市民向けに7月1日から携帯電話向けのメールマガジンの配信を開始しました ・115人が登録をしています（1月28日現在） ・週1回、行政情報、地域情報を配信し、緊急の際は臨時情報も提供しています ・対応言語は英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、やさしい日本語の5カ国語です	 インフルエンザなどの情報提供も

取り組み	川崎区ホームページの改修
・7月1日から外国人市民のためのページに区役所の案内を追加しました ・区役所の案内には庁舎案内地図、行き方、フロア案内などを掲載しています	 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語の6カ国語で案内

(2) 区民が取り組む環境エコ部会の取り組み

＜地球環境とエコのための解決策を提案＞
区民が取り組む環境エコ部会では、「地球環境とエコ」をテーマに審議しました。テーマに沿って検討した結果、2つの課題を設定して7つの解決策を提案するとともに、具体的な取り組みを実施しました。

「地球環境とエコ」実行計画

課題	解決策	取組内容	誰が	何を
地域緑化	・緑のカーテンづくり	・各家庭での緑化を推進するため、緑のカーテン用にゴーヤーなどのつる性植物の種や苗を区民に配布する	・町内会 ・区民団体(海風の森をMAZUつくる会、まちづくりクラブ、老人クラブ、PTAなど) ・学校 ・川崎区役所	・区民に家庭で育てられる植物の種や苗を配布する ・種のまき方や育成方法を記載したパンフレットを、種や苗と一緒に配布する
	・第1期の「まちを花で飾る活動」の拡充	・第1期で実行した「まちを花で飾る活動」を拡充する	・海風の森をMAZUつくる会 ・商店街 ・川崎区役所	・区内で開催される大きなイベントに併せて「まちを花で飾る活動」を実施する ・現在、川崎駅東口の商店街で実施している「まちを花で飾る活動」の実施場所を広げる
	・公共施設の緑化推進	・公共施設に壁面緑化、屋上緑化などの取組みを呼び掛ける	・区内の各公共施設 ・区民団体(海風の森をMAZUつくる会)	・公共施設に壁面緑化、屋上緑化などの取組みを呼び掛ける
地域や家庭での環境意識向上のための啓発・教育	・環境意識向上ポスターの作成	・区民の環境意識の向上を目的として、環境エコを呼び掛けるポスターを作成し、区内の各所に配布、掲示する	・町内会 ・区民団体 ・学校 ・川崎区役所	・環境エコを呼び掛けるポスターを作成する ・作成したポスターを区内各所に掲示する
	・環境出前講座の実施	・地域の団体を対象に、環境意識の向上を図り、日常生活の中でできる環境にやさしい取組みを紹介する環境出前講座を実施する	・町内会 ・区民団体(グリーンコンシューマーグループ、川崎区地域女性連絡協議会など) ・川崎区役所	・地域の団体を対象に環境出前講座を実施する
	・環境エコ期間(週間)の設定	・特定の期間を環境エコ期間(週間)に設定し、重点的に環境エコ活動を区民に呼び掛ける	・町内会 ・商店街 ・区民団体 ・川崎区役所	・特定の期間を環境エコ期間(週間)に設定し、重点的に環境エコを区民に呼び掛ける
	・環境先進企業見学の実施	・小学校を対象に環境先進企業見学を実施し、併せて環境出前講座も実施する	・区民団体(グリーンコンシューマーグループ、川崎区地域女性連絡協議会など) ・企業 ・学校 ・川崎区役所	・小学校を対象に環境先進企業見学を実施し、併せて環境出前講座も実施する

第1期からの継続	いつ(までに)						その他 (どこで、どのようになど)
	21年1月	4月	7月	10月	22年1月	4月以降	
							・川崎区役所の窓口に種とパンフレットを用意し、来庁者に持って帰ってもらう ・種や苗の配布は、区民団体を通じて市民活動交流フェスティバル(2月14日実施)でも行う ・種や苗の配布は、時季を考慮して5月までに行う ・種が採れた場合は、次年度も植えてもらえるように促す ・委員も植物を育て、その写真を撮影して広報に活用する
○							・アメリカンフットボールU-19グローバルチャレンジボウル2009川崎大会のため、会場周辺を花で飾る ・期間は3月19日～23日まで ・場所は富士見通りから川崎球場に向かう歩道
							・「まちを花で飾る活動」の実施地域を広げる(順次実施)
							・公共施設に壁面緑化、屋上緑化などの取り組みを呼び掛ける(順次実施) ・田島支所、建設センター、衛生研究所などの緑化をする ・ほかの公共施設にも取り組みを呼び掛ける ・植物は区民団体(海風の森をMAZUつくる会など)の協力を得て管理する
							・ポスターを作成する(6月までに実施) ・ポスターを掲示し、区民に環境エコを呼び掛ける(7、8月の間に実施) ・ポスターは小学校(4校程度を予定)の児童に作成してもらう ・優秀な作品はアゼリア広報コーナーなどに掲示し、特に優秀な作品は印刷して町内会掲示板、地域の街路樹などに掲示して区民に環境エコを呼び掛ける
							・環境出前講座を実施する(順次実施) ・環境出前講座は区民団体(グリーンコンシューマーグループや川崎区地域女性連絡協議会など)と協働で行う ・講座は1日単位とし、複数の団体に参加を呼び掛ける ・講座のメニューは複数用意し、受講団体が選択できるようにする ・会場は川崎区役所の会議室を使用する
							・7、8月の特定の期間を環境エコ期間(週間)に設定する ・環境エコ期間(週間)を市政だより区版や区ホームページで広報し、区民に取組みを呼び掛ける ・環境エコ期間(週間)に打ち水大会や環境出前講座などを実施する ・川崎区役所の窓口で、我が家の環境エコ宣言用紙や家庭でできるエコの一覧などを配布する
							・5年生を対象に、4校程度で実施する ・環境先進企業見学を実施し、併せて環境出前講座も実施する ・環境出前講座の講師は区民団体(グリーンコンシューマーグループ、川崎区地域女性連絡協議会など)が務める ・見学する企業はJFE、味の素、東京電力など ・見学する企業は小学校の時間の都合を考慮して1、2カ所にする

取り組み	ゴーヤーの種の配布 「緑のカーテンづくり会員」制度の創設と「緑のカーテン通信」の創刊
	・区役所、大師・田島支所の窓口で200セット配布しました ・「緑のカーテンづくり会員」制度を創設し、2月27日現在、37人が登録しています ・会員向け情報誌「緑のカーテン通信」を創刊し、2月27日現在、第6号まで発行しています 緑のカーテン通信

取り組み	新たにプランターを設置
	・アメリカンフットボールU-19の大会(平成21年3月21日開催)に合わせ、川崎球場周辺に季節の花を植えたプランターを50基設置しました ・大会終了後は、田島地区の商店街に移設しました ・設置済み商店街は、たちばな通商店街、川崎平和通商店街、東田商店街、鋼管通商栄会、大島本通り商店街ウェル大島商店会 田島地区の商店街 川崎球場周辺

取り組み	緑のトンネルの製作 区内の公共施設に壁面緑化の実施
	・市役所第3庁舎南側公開空地に鉄パイプなどで作った枠にゴーヤーなどを巻き付けた緑のトンネルを設置しました ・大師支所、田島支所、建設センター、健康福祉局衛生研究所にゴーヤーなどで緑のカーテンを設置しました ゴーヤーの収穫も 緑のトンネルを 枠から手作りで製作

取り組み	環境意識向上ポスターの作成と区内での掲示
・作成したポスターの中から、掲示用ポスター10枚を各校に提出してもらい、平成21年7月24日～8月6日の間、アゼリア地下街広報コーナー（市役所通り側）に掲示しました ・掲示用ポスターの中から、部会で最優秀作品を選考し、印刷して区内各所に掲示しました	 最優秀作品は印刷して区内に掲示

取り組み	環境出前講座を実施
・区民団体を対象に環境出前講座を実施しました - 団体: 梓の会（高齢者に給食の宅配サービスを実施） - 日程: 平成21年10月8日 - 場所: 愛泉ホーム（梓の会の活動場所） - 参加人数: 11人 - 主な内容: エコショッピング、エコクッキング - 講師: グリーンコンシューマーグループ	 エコを学んで実践

取り組み	環境の広場展を開催
・期間内のイベントとして「環境の広場展」を開催しました - 日程: 平成21年8月5日 - 場所: 市役所第3庁舎1階ロビーと南側公開空地 - 主な内容: 環境パネル展示 - エコ生け花 - 環境紙芝居「エコ座」 - 打ち水大会 - ゴーヤー料理の特別メニュー	 子どもたちも大勢参加

取り組み	環境企業見学の実施
・区内の小学校を対象に環境に対して先進的な企業の見学とグリーンコンシューマーグループによる環境出前講座を実施しました	 環境出前講座も

	日 程	参加児童	見 学 先	
			午 前	午 後
藤崎小学校	平成21年9月8日	94人	JFEスチール	
向小学校	平成21年9月18日	78人	JFEスチール	東京電力東扇島火力発電所
渡田小学校	平成21年10月23日	62人	東京電力東扇島火力発電所	JFEスチール
川中島小学校	平成21年11月18日	77人	東京電力川崎火力発電所	JFEスチール

5

取り組みの振り返り

＜取り組みの定着と拡大のために＞

取り組みを地域に定着させたり、さらに広げたりするため、実施後に振り返りとして意見交換の機会を持ちました。

(1)

地域力・つながり部会の振り返り

全体を通して

- ・自分たちの住んでいる地域のことを知る（「まちの記憶を知る」「まちの未来を見る」）ことが重要
- ・つながりを強めるには取り組みを継続していくことが必要
- ・顔の見える関係づくりが重要
- ・情報共有のための場や制度づくりが重要

個別の課題、取り組みに対して

＜スポーツを通じた交流の実施＞

- ・カローリングの楽しさが分かり始めた段階なので、時間を掛けて広げていくことが必要

＜シニア世代の地域活動参加促進ツアーの開催＞

- ・参加人数は少なめだったが、かえて「つながり」という点では参加者同士、参加者とガイドの交流ができた

＜地域の縁側の支援＞

- ・担い手が不足しているので、支援が必要

＜防災訓練（防災フェア）への外国人市民や障害者などの参加促進＞

- ・実際に体験することが重要
- ・参加者を増やすために広報の強化が必要
- ・外国人市民と一緒に運営する側も経験を積んでいくことができる
- ・今回の防災訓練をきっかけに、参加の呼び掛けをした日本語学校などとのつながりも検討する

＜外国人市民向けメルマガの配信＞

- ・韓国・朝鮮語の配信を検討する（現在は携帯電話にハングル文字の表記ができない）
- ・利用者からも意見が返ってくるようになるとうい

(2) 区民が取り組む環境エコ部会の振り返り

全体を通して

- ・環境イベントなどへの委員の関わり方の検討が必要
- ・企業と連携した取り組みを検討してはどうか
- ・モデル地区を設定して重点的に実施してはどうか

個別の課題、取り組みに対して

<緑のカーテンづくり>

- ・PRを強化する
- ・育成方法の指導をするなど、種や苗の配布後の支援も検討する

<第1期の「まちを花で飾る活動」の拡充>

- ・ほかの団体にも参加を呼び掛けて取り組みを広げる

<公共施設の緑化>

- ・他の公共施設にも呼び掛けをしていく

<環境意識啓発ポスターの作成>

- ・区内のさまざまな場所でポスターが掲示され、大変好評だった
- ・小学校の児童が描くと効果的
- ・対象校を増やすなど拡充する

<環境出前講座の実施>

- ・受講団体が翌年度は講師を務めるようにするなど、団体を育成していく

<環境エコ期間(週間)の設定>

- ・好評だったので1回限りでなく継続していく
- ・事前に実施計画を立てて実行する

<環境先進企業見学の実施>

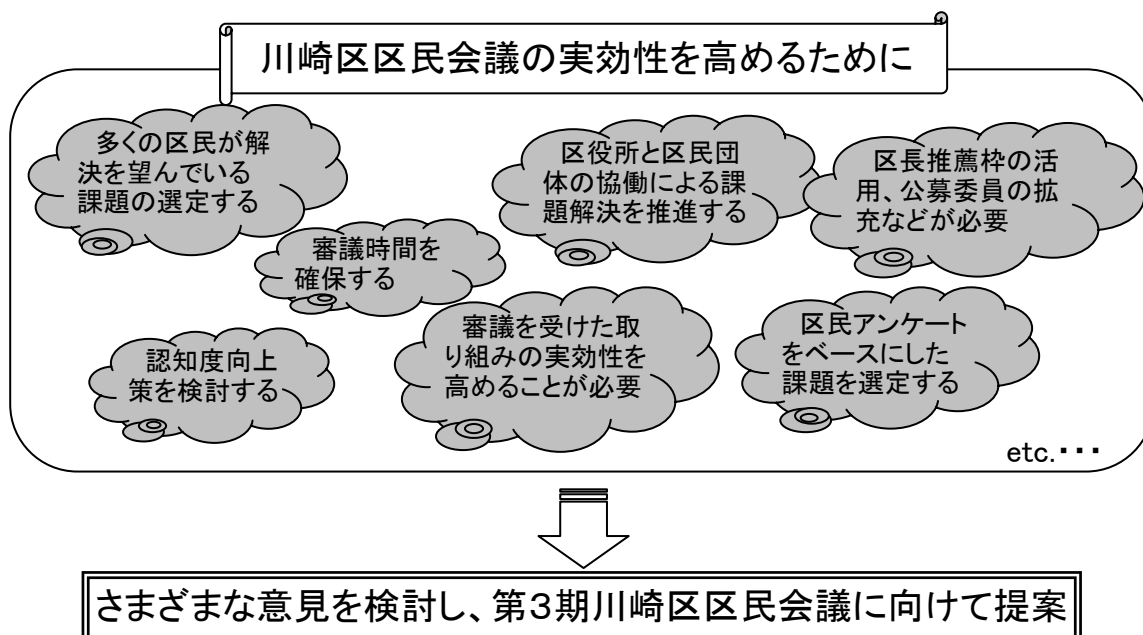
- ・対象校を増やせないか検討する

Ⅱ 川崎区区民会議の実効性を高める取り組み

1 実効性を高める方策を検討

＜川崎区区民会議の運営方法などの改善点を検討＞

第2期の2年目にあたる平成21年度には、区民会議制度が実施後3年が経過したことから、「実効性を高める部会(実行推進プロジェクト)」を設置しました。
「取り組みをもっと地域に広げたい」「取り組みをもっと迅速に実行したい」「区民会議に審議をもっと活発にしたい」などの考えから、川崎区区民会議の運営方法などの改善点を検討しました。



2

第3期川崎区区民会議に向けての提案

＜任期の開始時期の変更、区長推薦枠の活用など15の方策を提案＞

課題解決に向けた取り組みを推進しようと、第3期川崎区区民会議に向けた課題を抽出し、解決に向けた方向性を検討した結果、15の提案をまとめました。

1 的確な地域課題の選定について

課題認識	・多くの区民が解決を望んでいる課題の選定が必要 ・区民アンケートをベースにした課題を選定することが必要 ・地域に取り組みが広がるような課題の選定
課題に対する意見	・区民アンケートを実施する。世代別の声を集めるため依頼先や回収方法などの工夫をする ・世代別・地域別の懇談会などを開催する ・区民に面接（ヒアリング）をする。例えば「区民100人に聞きました」のようにする ・そもそも委員をさまざまな世代・活動の団体から選任する



部会の提案	(1) 個人向けと団体向けのアンケートを実施（個人向けは11月に実施、団体向けは第3期に申し送り） (2) 必要に応じて地域別・世代別の懇談を実施 (3) 必要に応じて区民に面接（ヒアリング）を実施
-------	---

2 提言に向けた審議について

課題認識	・審議時間の確保が必要 ・審議テーマに関わる情報の収集について ・最適な任期開始時期（現在は7月）の検討が必要
課題に対する意見	・審議時間を拡大（1回2時間にこだわらない）するなど集中的に審議をする。年4回、1回2時間では具体的な実行方法を審議する時間が少ない ・任期開始時期を早める。1年目の9月までに予算要求できる体制をつくる。ただ、4月開始でも難しいのではないかと ・審議テーマの選定に時間をかける。まず、全体で課題の本質や障壁などを共有する ・地域での取り組みを広げるため、提言をまとめるのに1年、解決の取り組みに1年かける ・審議テーマに関する情報収集をし、資料として配布する ・委員の自主性を尊重し、事務局の役割や関わり方を軽減する。特に部会では事務局は最小人数で対応できる ・実行推進プロジェクトを常設する ・区民会議内部の情報共有をする



部会の提案	(1) 会議の回数、時間は審議状況などに応じて拡大する (2) 任期の開始時期を4月に変更 (3) 審議テーマに関する情報を関係者なども含めて収集し、資料として配布
-------	--

3 区民団体などとの連携について	
課題認識	・取り組みを広げるためには区民団体などを育成する視点が必要 ・区役所と区民団体の協働による課題解決の推進
課題に対する意見	・区役所が窓口になって区民団体に取り組みへの参加を呼びかける ・区民団体の登録制度をつくり、情報共有ネットワークや取り組みへの参加体制をつくる ・区民団体をもっとよく知り、区民団体に区民会議をもっとよく知らせる



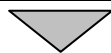
部会の提案	(1) 区民団体への取り組み参加の呼び掛け (2) 区民会議と区民団体をもっと相互に認識を深める
-------	---

4 委員の選任方法について	
課題認識	・区長推薦枠の活用、公募委員の拡充などについて
課題に対する意見	・団体推薦では選出されにくいような地域人材を区長推薦で選任する ・若い世代の声を反映できる委員を選任する。団体推薦は長ではなく若手の推薦を依頼する ・公募枠の拡充は応募状況によって決める ・小規模な区民団体に応募を勧める。特に若者、主婦や子育て世代が中心の団体に絞る



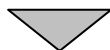
部会の提案	(1) 若者、主婦や子育て世代などの地域人材を活用するために区長推薦枠を活用 (2) 関係者の出席の活用
-------	---

5 区民会議の認知度向上について	
課題認識	・認知度向上策の検討が必要
課題に対する意見	・委員が積極的にPRする。例えば、名刺に「区民会議委員」と明記する、区民団体の会合に委員が出向いて活動を説明するなど ・団体推薦委員は推薦団体に活動内容を報告する ・ほかのイベントなどに区民会議のPRを織り交ぜる。区民会議を説明したパネルを作り、さまざまなイベントで掲示する ・町内会掲示板に区民会議情報を掲示する ・地域に広げられる成果となる取り組みをすればPRになる



部会の提案	(1) 委員の積極的なPRの実施 (2) 団体推薦委員の推薦団体への活動報告の実施 (3) イベントなどでの区民会議のPRの実施(パネルの展示、チラシの配布、帽子やベストを着用など) (4) 町内会掲示板などへの区民会議情報の掲示
-------	--

6 課題解決に向けた取り組み方について	
課題認識	・審議を受けた取り組みの実効性を高めることが必要
課題に対する意見	・「区民会議だからこそできる」取り組みを実施する ・活動を継続する方法を検討する。審議テーマの多くが長期的(継続的)に取り組むことで広がりができ、解決していくもの ・長期的取り組みは緊急性、実現性などを考えると難しい。任期の制限もある ・委員が発言するだけでなく課題解決に取り組む



部会の提案	(1)「区民会議だからこそできる」取り組みの実施
-------	--------------------------

Ⅲ 課題解決を推進する取り組み

1

有識者による協働をテーマにした講演の実施

＜有識者が関係者として審議に参加し、審議に引き続いて講演を実施＞

有識者が関係者として審議に参加し、「地域力・つながり部会」と「環境エコ部会」、第2期川崎区区民会議全体を通じての総括を、専門的見地から行いました。

審議に引き続いては、委員、傍聴者などを対象に、総括を受けて「区民と行政の協働の取り組みの推進」をテーマに講演を行いました。

講 師

犬塚 裕雅氏 (NPO法人 コミュニティ・コーディネーターズ・タンク理事)

講演要旨

◎地域力・つながり部会

- 地域力・つながり部会の審議の中心は2点
 - ・顔の見える関係づくり
 - ・どのように情報共有をするか
- 川崎区の特色を活かした地域力
 - ・川崎区は「互いに顔がわかる」「みんなで協力する」「力を寄せ合う」といった好循環が生まれやすい土壌がある



◎環境エコ部会

- 川崎区独自の魅力を深める
 - ・環境先進企業見学と区が実施している企業市民交流事業のバスツアーを連携させるなど活用すれば、新たな提案が生まれる可能性もある
- 都市生活の中でのエコ活動
 - ・市街地と臨海部という区の特徴を把握して、何ができるかを考える

◎第2期川崎区区民会議全体を通じて

○川崎区区民会議の特色

- ・具体的に実施方法を審議し、取り組みを着実に実行している
- ・区民会議が実行段階に関わることで地域に取り組みを定着させている
- ・区民会議委員が推薦団体、関係団体との橋渡し役になって取り組みを広げている

○川崎区区民会議に期待すること

- ・地域の課題を的確に把握し、参加と協働による解決の方向性や具体的な解決策を導き出す
- ・目指す地域像を実現するための最も有効な道程を描く
- ・取り組み主体を掘り起こし、協働の仕組みをつくり、地域力を創造する

○川崎区区民会議の課題

- ・実行計画の実効性を高めるため評価指標をつくる
- ・成果の定着化を進める
- ・プレイヤー(実行する人)からプロデューサー(生み出す人)になる
- ・連携を促す仕組みをつくる
- ・コーディネーターとしてコミュニケーションの活性化を図る
- ・地域拠点を整備する



2

区民会議集会の開催

＜これまでの取り組みを報告し、委員と区民が意見交換＞

第2期川崎区区民会議のこれまでの取り組みを報告し、それを受けて、委員と会場の区民が地域課題の解決に向けた意見交換を行いました。

日 時	平成22年2月27日(土) 14:00～16:00	
場 所	川崎区区役所7階会議室	
参加者	21人	
意見交換の主な内容		
会場意見1	「団体の会員を増やす取り組み」	
参加者	当団体では、毎年いろいろなイベントを実施していますが、団体の会員数が減少傾向にあります。会員を増やす取り組みを連携してできないでしょうか。	
委 員	いろいろなイベント実施しているとのことなので、そのイベントに区民会議委員の関係団体が参加すれば、相乗効果が生まれて参加者が会員になる機会も増えるのではないのでしょうか。ぜひ一緒に取り組みたいと考えています。	
委 員	先日、「ご近所の底力」というNHKの番組のプロデューサーの講演を聞きました。会員が増えない原因は、企業や学生は参加しないだろうと思って呼びかけていないこと、活動が楽しくないことだと言っていました。 会を運営して人を集めるための鉄則が3つあり、1つ目は会費を徴収しないこと。徴収する場合の上限は1,000円。2つ目は何か提案があったときに、議論をすれば否定的な意見が必ず出るので、即座に実行に移すこと。3つ目は情報を共有すること、だそうです。	

会場意見2	「若者の意見の取り入れ」	
参加者		若者や子どもたちは柔軟で新しい発想を持っています。高校生など若者の意見を聞く機会を設ける必要があるのではないかと思います。
委員		地域では、公園の再整備に小学校の児童の意見を取り入れている事例もあります。区民会議でも若者の意見を取り入れていきたいと考えています。
会場意見3	「区内のスポーツ振興」	
参加者	田島地区では学校などでカローリングを使って地域の交流を図っていますので、もっとカローリングを広めていきたいと思います。 川崎区には総合型スポーツクラブがないので、早く設立して欲しいと思います。 学校や公園などの施設をもっと有効に利用させて欲しいです。それに関連して、照明設備が試験的に設置した1カ所しかなく、しかも有料です。照明設備の設置が難しいようであれば、防犯灯を設置して欲しいです。	
委員	意見、要望として受けます。	
会場意見4	「川崎区の歴史、文化(佐藤惣之助、二ヶ領用水)」	
参加者	取り組み報告の旧東海道ウォーキングツアーの中で、佐藤惣之助や二ヶ領用水の紹介がなかったようですが、もっと力をいれてもよいのではないのでしょうか。	
委員	説明しませんでした。佐藤惣之助も二ヶ領用水も紹介しています。	
会場意見5	「富士見公園問題の審議」	
参加者	これまで、富士見公園のことが取り上げられていないので、取り上げて欲しいです。	
委員	意見、要望として受けます。	
会場意見6	「世代間交流」	
参加者	若い世代と高齢者世代など、世代間交流が必要という意見をよく聞きます。若い世代はどちらかと言うと受身の人が多いので、活動を立ち上げる支援をすればもっと活気が出てくると思います。 その上で、世代間や団体同士のつながりをつくる仕組みづくりを区民会議から提案して欲しいです。	
委員	区民会議で検討していきたいと思います。	

資 料 編

- 1 第2期川崎区区民会議委員一覧
- 2 川崎区区民会議参与一覧

第2期川崎区区民会議委員名簿

任期：平成20年7月1日から平成22年3月31日まで

50音順、敬称略

氏名	推薦団体・分野など		専門部会			
			幹	地	環	実
あいはら あきら 藍原 晃	川崎区連合町内会	地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
あらい けいはち 荒井 敬八	川崎区文化協会	文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野	○			○
いのくま としお 猪熊 俊夫	かわさきタウンマネージメント 機関運営協議会（かわさきTMO）	産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野		○		
うおつ としおき 魚津 利興	川崎商工会議所	その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野 企業市民	○			
きくち こうき 菊地 弘毅	川崎区医師会（社団法人 川崎市医師会）	福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
きじま ちえ 木島 千栄	公募				○	○
しまだ じゅんじ 島田 潤二	川崎区連合町内会	地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野		○		
すやま よしこ 須山 令子	川崎区保護司会	福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
たなべ とみお 田辺 富夫	川崎区まちづくりクラブ	地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野			○	
だんづか まこと 弾塚 誠	川崎区安全・安心まちづくり推進協議会	防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野	○			
とみた よりと 富田 順人	社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会	福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野			○	
ながしま とおる 長島 亨	川崎区連合町内会	地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野			○	
ばく よんじゃ 朴 栄子	川崎市ふれあい館（社会福祉法人 青丘社）	その他、各区の地域特性に応じた課題に関する分野 多文化共生		○		○
はせがわ ゆきこ 長谷川 幸子	川崎区民生委員児童委員協議会	子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野			○	
はた たくじ 秦 琢二	川崎区PTA協議会	子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野			○	
はらだ あゆむ 原田 歩	川崎区市民健康の森 海風の森 をMAZUつくる会	緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野	○		○	○
ふじおか れいこ 藤岡 玲子	公募				○	○
ほしかわ たかよし 星川 孝宜	公募		○	○		○
みやざき とみこ 宮崎 とみ子	公募			○		○
よしの ちさお 吉野 智佐雄	特定非営利活動法人 かわさき 歴史ガイド協会	文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野		○		

※専門部会欄の幹は幹事会、地は地域力・つながり部会、環は環境エコ部会、実は実行推進プロジェクト

川崎区区民会議参与名簿

五十音順・敬称略

【市議会議員】

氏名	所属会派
飯塚 まさよし 正良	民主党
いわさき よしゆき 岩崎 善幸	公明党
こばやし きみこ 小林 貴美子	公明党
さかもと しげる 坂本 茂	自民党
さの よしあき 佐野 仁昭	共産党
しまざき よしお 嶋崎 嘉夫	自民党
にし じょうじ 西 譲治	民主党
はまだ まさとし 浜田 昌利	公明党
はやし ひろみ 林 浩美	自民党
みやはら はるお 宮原 春夫	共産党

【県議会議員】

氏名	所属会派
すぎやま のぶお 杉山 信雄	自民党

市議会議員10人、県議会議員1人、合計11人



第2期川崎区区民会議報告書

平成22(2010)年3月

事務局 川崎区役所企画課
〒210-8570
川崎区東田町8番地
電話 044-201-3267 FAX 044-201-3209

＜川崎区のホームページ 川崎区区民会議のページ＞
<http://www.city.kawasaki.jp/61/61kawasakiku/kuminkaigi/index.htm>